



石高通信

令和6年11,12月号
(第118号)
宮城県石巻高等学校

※生徒氏名の()内は出身中学校

創立100周年記念式典

11月8日(金)、在校生や教職員、鰐陵同窓生など約900人が出席し、創立100周年記念式典が石巻市のマルホンまきあーとテラスで行われました。

オープニングの吹奏楽部演奏の後、本校卒業生でもある須田一憲校長が「『自ら進運を開拓すべし』は100年の時代を超え、現在も本校教育の根幹になっている」と話しました。

生徒代表挨拶では前生徒会長の馬場珀虎君(湊)が「この100年で時代は大きく変わったが、誇り高き鰐陵魂は脈々と受け継がれてきた。これからの100年へ、仲間と共にこの精神を引き継いでいく」と話しました。その後、応援団の主導により、全校生徒が応援歌「幻の門」を歌いました。



生徒代表挨拶



学校長挨拶



式典後の記念講演会では本校の卒業生で、国内外で活躍している自然写真家の高砂淳二氏が、「地球人としての自覚を持って生きる」と題して講演を行いました。



修学旅行



12月3日(火)から6日(金)にかけて、2学年の修学旅行を実施しました。行き先は関西でした。1日目は三十三間堂と北野天満宮を巡り、京都の文化や歴史に触れました。この夕食後には吉本興業のお笑い芸人のライブを楽しみました。2日目は班別自主研修を行い、班ごとに設定したテーマに沿って、各名所を巡ってきました。3日目は奈良公園で鹿と触れ合い、大仏殿等の見学をした後、ユニバーサルスタジオジャパンで様々なアトラクションを楽しみました。4日目はクラス別に研修場所を設定し、それぞれの場所を見学しました。体調不良者が出ることもなく、十分に関西の魅力を堪能することができました。



自主研修(2日目)レポートより

銀閣寺では自然と調和した静けさと美しさを感じた。わび・さびの良さに触れることができた。

今回の研修で、話を聞くことの大切さを改めて学ぶことができた。

着物を着ると思ったよりも動きづらくて大変でした。でも日本の文化を体験できるとても良い機会になったので良かったです。

外国人観光客に何度か質問をされたが、簡単で分かりやすい英語で会話することができた。臨機応変に対応する力が身についたと思った。

長い歴史を持った建物が多く、有名な観光スポット以外にも、小さな寺が多くある街並みには趣があり、昔ながらの日本らしさがある京都の土地は他の土地にはない魅力がありました。

京都の豊かな文化や自然に触れる中で、日本の文化が様々な人に愛されていることを改めて感じた。

くぎを使わずに作られた清水の舞台を見て、日本の伝統的な建築技術の高さに驚いた。こうした技術が長い歴史の中で受け継がれてきたことに感動した。

景観を崩さない様々なデザインや、神社・寺院に合わせた道路が古都京都を作り上げていると感じました。

